

# 交換留学報告書

氏名	寺山瑚桃
学部/研究科・学年（留学時）	法文学部人文社会学科 3 回生
留学国名	台湾
留学期間	5 ヶ月
実施年月	2023 年 8 月 31 日～2024 年 1 月 12 日

## 1. はじめに

今回、私は台湾の国立高雄大学に 2023 年 8 月から半年間留学しました。留学を通して学んだことや経験を報告させていただきます。留学にあたり、愛媛大学より海外派遣奨学金をいただきました。充実した留学生活を送ることができ、心より感謝申し上げます。

## 2. 留学をしようと思った理由

高校生の頃に短期留学でオーストラリアに行ったり、修学旅行でシンガポール、マレーシアに行ったりしました。その時は見るもの全てが新鮮でとてもワクワクしたことを覚えています。これをきっかけに、自分の知らない世界を自分の目でもっと見てみたいと思うようになりました。大学では留学をしたいとずっと思っていたのでコロナ化が落ち着いてきたこの機会に留学を決意しました。

## 3. その大学を選んだ理由

一番は中国語能力の向上です。私は、大学 1 回生から中国語を履修していて、単に外国語を勉強するのが楽しいという理由で続けてきました。しかし、観光地でアルバイトをしていて中国語圏からのお客さんが多いことから、今後中国語の需要はさらに高まってくると考え、中国語の習得はより多くの人とコミュニケーションを取ることができメリットになると思いました。中国語の先生が台湾をお勧めしていたので、中国ではなく台湾に決めました。また、国立高雄大学のある高雄は台湾の南部に位置していて、一年を通して暖かいので過ごしやすく、伝統建築やアートスポット、自然も豊富でのんびりとゆったり過ごせると考えました。

## 4. 留学先で学んだこと（授業の様子）

授業は、4 つ取っていました。私は日本語学科を選んだので、日本語の授業 2 つと中国語の授業を 2 つ受けていました。授業は全て中国語で行われ、最初は先生が言っていることがほとんど分かりませんでしたが、授業を受けるにつれて理解できるようになりました。日本

語の授業は日本語の単語や文法などを学ぶことがメインでしたが、翻訳練習がよくあったので日本語を通して中国語を学ぶことができました。授業中はペアワークがあり、毎回異なる人とペアを組んでいました。休憩時間にペアの人と会話をする中で、日本のアニメや漫画は台湾でとても人気があり、それをきっかけに日本語を学びたいと思う人が多いということを知りました。中国語の授業は先生が用意したパワーポイントや教科書を主に進められ、それぞれのテーマに応じた単語や用法などを勉強しました。授業中は発表もあったので、中国語で文章を考えるのが難しかったです。テストは中間と期末の二回ありました。一つの授業はスピーキングテスト、もう一つは筆記試験でした。テストの1週間前くらいから勉強を少しずつ始めました。範囲は授業でやった内容ですが、復習しておかないと難しいと感じました。

学校の授業以外には語学センターの授業を受けていました。週二日で夜の18時から21時まででありました。最初に300元払いましたが、2日未満の欠席で返金されたのでとてもお得に学ぶことができました。語学センターでは日常生活で使うような基礎的な内容を学びました。ほとんどはスピーキングの練習で、何回も同じことを繰り返したおかげで自分の発音がレベルアップしたと思います。



台湾人 Youtuber の方の講演会



墾丁での課外学習

## 5. 現地での生活（住まいや食事）

住むところは学校内の寮で4人部屋でした。ルームメイトは、私のほかにもう一人の日本人と、インドネシア人、マレーシア人でした。部屋には自分のスペースとして机、ロッカー、ベッドがあり、洗面台、トイレ、シャワーを共用で使っていました。寮の設備には有料の洗濯機や乾燥機、無料の冷蔵庫があり、よく利用していました。寮について調べているとき、ルームメイトと合わなくて大変だったというコメントをよく見かけて心配していましたが、私の場合はストレスなく過ごすことができました。ルームメイトとは国籍が異なるため、生活習慣や文化が異なるのは当たり前のことで、少しは妥協も必要だとは思いますが、しかし、電

気を消すタイミングや音量など、お互いが相手のことを思いやることで快適に過ごせたと思います。掃除などは特に当番などを決めず、気になったらやるという感じでした。また、共有して使う日用品も無くなったら誰かが買って補充していたので、私が買うこともあれば、ルームメイトが買ってくれていたこともありました。最初困ったことは、台湾の水が硬水だということです。髪を洗った時にすぐキシキシして汚れが落ちない感じだったので軟水化するシャワーヘッドを買って対応しました。



学内の寮

食事は日本人の私の口に合ったもので基本的に何でもおいしかったです。美味しくて安いものがたくさんありました。台湾に着いた当初食べたお弁当がこれまで食べたことのない食材や香辛料の味付けで口に合わないかもしれないと心配しましたが、ほとんどのご飯は八角などの香辛料の味が気になるということはなく、おいしかったです。朝ご飯は食べなかったのですが、昼ごはんはと夜ごはんの一日2食だったのですが、昼ごはんは学食をよく利用していました。ご飯と主食、おかず三つを選んでほしい日本円で350円くらいだったのでとても安かったです。夜ごはんは外に食べに行っていたのですが、学校から少し遠いところにお店がたくさんあったので自転車やバスに乗って行っていました。よく食べていたのは火鍋やタイ料理、八方雲集という餃子チェーン店などです。台湾の料理は野菜が少ないので、鍋は野菜をたくさん食べられて良かったです。UberEATSやfood pandaもあったので外に出るのが億劫なときは利用することもありました。台湾には日本食チェーンがたくさんあり、たまに日本食が恋しくなるときはお寿司を食べたりうどんを食べたりしていました。夜ご飯を食べに夜市に行くこともよくありました。夜市はほぼ毎日やっていて場所によって名物が違うのでそれを食べるのが楽しかったです。高雄の瑞豊夜市はお店がたくさんあるのでお気に入りでした。夜市の地瓜球という、さつまいもを使ったスイーツは特に美味しかったです。タピオカなどのドリンクもたくさん飲みました。ドリンク屋さんがたくさんあり、どこも300円くらいで大きいサイズを買えるので外出時にはドリンクを買ってドリンクホルダーに入れて持ち歩っていました。タピオカ以外にもフルーツ系の飲み物やお茶などもたくさんあり、選ぶのが楽しかったです。



瑞豊夜市



火鍋



学食のお弁当

## 6. 留学先で楽しかったこと、辛かったこと

楽しかったことは台湾中を旅行したことです。北の台北から南の高雄まで新幹線に乗って最速 90 分で行くことができ、そのほかにも電車や地下鉄、バスなどもあるので交通機関には困りませんでした。金曜日が全休だったので土日の三連休を使って月に一回は旅行で台中や台北に行きました。日帰りで台南や屏東にも行きました。台湾の中でも場所によって違う雰囲気があり、台北は都会のざわざわした感じ、台南はのんびりしたレトロな雰囲気でした。旅行先では、その場所の有名な観光地に行ったり、名物のおいしいものを食べたり、かわいいお店や美術館や博物館に行ったりしました。特に美術館や博物館は日本にいるときよりもたくさん行ったと思います。日本で国立の建物に行こうとすると移動のお金や時間がかかりますが、台湾の国土は小さいので、国立の建物にもすぐに簡単に行くことができるのが魅力だと思います。台中の国立自然科学博物館は展示物が多く、体験コーナーもあって面白かったのでお勧めです。年末には日本の友人が訪ねてきてくれて、一緒に旅行しました。観光客に人気の九份や十分などに行き、とても楽しかったです。年越しは台北 101 でカウントダウンの花火を見ました。海外で年を越せたことは一生の思い出になりました。台湾は思っていたよりもおしゃれなカフェやランチ、安くてかわいい服などたくさんあり、土日は公園などでフリーマーケットをやっていて遊びに行く場所に困ることはありませんでした。のんびりした時間を過ごすことができ、楽しかったです。



フリーマーケット



台北 101 の花火



九份

一方で、辛かったことは人間関係です。私はすぐに誰とでも仲良くなれるタイプではないので、人間関係を構築するのが難しかったです。日本人の留学生は 20 人くらいいたので、やはりその中でのトラブルも耳に挟むことがあり、トラブルなくみんなと仲良くするのは日本でも海外でも難しいことだと実感しました。また、言葉が通じないことも悔しかったです。1 回生から中国語の勉強を始め、検定も受けていたので全く分からないことはないと思っていましたが、留学では今まで勉強した内容はほとんど使うことはなく、最初のうちは何を言っているのか全く理解できませんでした。中国語には声調があり、トーンが違えば別の意味の言葉になったり、通じなかったりするのですが、ドリンクを頼むだけでも私の声調が下手で通じない時があり、自分の能力の低さを実感しショックでした。お店に行く度に声を出したり、授業を通して声調の練習をしたりして、正しく注文できるようになったときは嬉しかったです。そして、お風呂で湯船がなく、シャワーしかないことも日本人の私にとって辛かったです。たくさん歩いて疲れた日や寒い日など、湯船につかれば疲労回復できたり温まったりできるのですが、湯船がないことでゆっくりリラックスできないのが困りました。ストレッチやマッサージをしたり、長めにシャワーを浴びたりすることで対処しました。

## 7. 終わりに

今回の留学を通して私は、日本では経験できない貴重な体験をすることができました。半年はあっという間ですごく短かったように感じますが、この短期間でも台湾に留学することができ本当に良かったです。今、留学に行こうか迷っている人がいたら、絶対行くことをお勧めします。もし、不安や心配があってもその 9 割は起こらないと言われているのできっと大丈夫だと思います。考えるよりもまず、一步踏み出してみることで流れに乗ってうまくいくと思います。私も、性格上色々考えて行動が遅くなってしまうことがよくあるのですが、「今しかない！」と思い留学を決意しました。留学を通して、実際に現地の文化や価値観を学び、視野を広げることができたうえ、自分の考えをはっきりと伝えられるようになり、多

くの面で成長できたと思います。現在は情報社会ということもあり、インターネットで得られる情報をもとに勝手なイメージが先行しがちです。しかし、留学生活を送る中で「思っているよりも〇〇だ」ということがたくさんあり、新たな発見ができ、思い込みは良くないと気づかされました。帰国の時にはちょうど総統選挙が開かれ、台湾人の選挙に対する思いを強く感じたり、能登半島地震の際に台湾市民が25億円の寄付をして、台湾の親日さを目の当たりにしたりして価値観が変わる貴重な経験となりました。この留学の経験を活かしてさらに成長していけるよう、今後も中国語の勉強に励もうと思います。